

高知県立消費生活センター  
**地域見守り情報**



第64号

統計調査？防災用品の配付？

電話で個人情報を聞き出す手口に注意！！

実在する国の省庁などの職員を名乗って電話をかけ、住所や名前、預貯金の額や保険加入の有無などを聞き出そうとする事例が発生しています。これまでも様々な公的機関を名乗って個人情報を聞き出そうとする事例がありましたが、引き続き注意が必要です。

【県内事例①】

「総務省統計課」の職員を名乗る人物から、「貯金はどのくらいあるか、保険には加入しているか」など質問され、住所と名前も聞かれたので答えた。その後確認したところ、そのような調査は実施されておらず、聞いていた連絡先電話番号も、全く関係のない企業の番号だった。

【県内事例②】

消防署の職員を名乗り、一人暮らしの高齢者に防災用品を送付すると電話があり、個人情報を教えた。届いた防災用品は玄関に置いておくようにと言われたが、不審に思い、消防署に確認の電話をしたら、そのような事実は無かった。

(70代女性)



©KANAGAWA2013

アドバイス

1. 実在する省庁を騙り、相手を信用させ個人情報を聞き出そうとするもので、その情報から悪質な勧誘や特殊詐欺につながる恐れがあります。
2. 公的機関が、電話で個人情報を聞き出すことはありません。
3. 不審に感じたときは、すぐに警察（全国共通短縮ダイヤル #9110）や消費生活センターにご相談ください。

☎ 高知県立消費生活センター 088-824-0999